

## 市立中学校の授業時数に関する調査結果について

平成 25 年 1 月に市立市ヶ尾中学校の授業時数の不足が判明したことを受けて、平成 25 年 1 月 21 日（月）～2 月 7 日（木）までの間、全市立中学校の授業時数に関する調査を行いました。

調査を受けて各学校が授業時数を確認したところ、調査時点で授業時数が不足すると見込まれた学校は 16 校ありました。

### 1 調査結果

#### (1) 授業時数の不足が見込まれた学校と時数

- ・ 金沢中学校（22 時間）                      ・ 希望が丘中学校（19 時間） ・ 新羽中学校（19 時間）
- ・ 日限山中学校（18 時間）                  ・ 鴨居中学校（16 時間）                  ・ 飯島中学校（15 時間）
- ・ 六浦中学校（14 時間）                      ・ 富岡中学校（12 時間）                  ・ 都田中学校（10 時間）
- ・ 早渕中学校（10 時間）                      ・ 霧が丘中学校（9 時間）                  ・ 東山田中学校（9 時間）
- ・ 荏田南中学校（9 時間）                      ・ 平戸中学校（8 時間）                      ・ 中川中学校（7 時間）
- ・ 上郷中学校（3 時間）

計 16 校

#### (2) 授業時数確保のための方法（複数回答あり）

方 法	校 数
①特別時間割（入試以降の時間割）に教科等の授業を行う	14 校
②午前授業日に午後にも授業を設定する	10 校
③5 時間授業日に 6 時間目を設定する	8 校
④特定の教科等の授業時数を増やすため、時間割を組み替える	5 校
⑤帯授業（モジュール）を設定する	3 校
⑥学年末テストの午後に授業を設定する	3 校
⑦入試関係の日（出願日等）に授業を行う	1 校
⑧卒業式の時期をずらす	0 校
⑨土曜日（休業日）に授業を行う	0 校
⑩臨時に 7 時間授業を設定する	0 校
⑪行事の中止や延期により教科等の授業を行う	0 校

※ 帯授業（モジュール）：計算や漢字の練習などを毎日 10 分程度行う授業の形態  
10 分 × 5 日 = 50 分 = 1 単位時間

#### (3) 授業時数の不足が見込まれた理由

理 由	校 数
①日常的な授業時数の管理が十分でなかった	15 校
②4 月～12 月までの間に、学級閉鎖等の不測の事態があった	0 校
③その他 ・教科ごとの授業時数の管理が十分でなかった	1 校

#### (4) 授業時数の変更内容の周知方法

周 知 方 法	校 数
①保護者に通知を出した	5校
②生徒を対象に説明会を開いた	2校
③保護者を対象に説明会を開いた	0校

※ 上記以外の学校は、通知、説明会を行っておらず、月間予定表などで連絡しています。

## 2 今後の対応

- (1) 授業時数の不足が見込まれた中学校に対しては、来年度以降の授業時数が適切に確保されるよう、支援・指導してまいります。
- (2) 現在、2月上旬に行っている各市立学校から教育委員会への授業時数の報告について、年度途中においても、指導主事が行っている定期的な学校訪問等で、各学校の授業時数の確保の状況について確認するなど、支援・指導してまいります。
- (3) 学校長が責任をもって行うべき学校経営の基本的事項を確実に遂行できるよう、学校の実情をよく捉え、学校の現場力を高めることができるよう、学校を十分に支援・指導してまいります。

## 3 その他

別添資料のとおり

## (参考資料)

### 1 市立中学校の年間総予定授業時数の状況

全市立中学校は、定められた各教科等及び年間総授業時数を、今年度、確保できる予定です。

※ 学校教育法施行規則で定められた年間総授業時数は各学年において、1015 時間です。また、1 単位時間は原則、50 分です。

※ 本市では、例年 1 月下旬から 2 月上旬にかけて、「横浜市立学校の教育活動に関する実施状況調査」を行っており、各学校はその時期に再度、授業時数の確認・報告を行っています。

### 2 1 単位 50 分以外の授業時間の設定状況

① 必要に応じて、45分授業を行っている中学校 109校

※ 原則、50分授業ですが、定期試験や行事等のために短縮授業（45分授業）も実施しています。

② 必要に応じて、5～15分授業を行っている中学校 39校

※ 原則、50分授業ですが、計算や漢字などの基礎学力の定着を目的に、1 週間を通して「帯授業（モジュール）」で学習時間を設定しています。

授業の 1 単位時間を何分にするかについては、生徒の学習についての集中力や持続力、指導内容のまとまり、学習活動の内容等を考慮して、どの程度が最も指導の効果をあげ得るかという観点から決定する必要がある。〔中学校学習指導要領解説・総則編より〕

### 3 校内における日常的な時数の管理について

① 日常の授業時数の管理者

管理者	校数
教務主任	142 校
副校長など	5 校

② 授業時数の確認時期

確認時期	校数
月ごと	127 校
学期ごと	15 校
週ごと	3 校
年度末(1~2 月)	2 校

③ 教職員の授業時数確認の場

確認の場	校数
職員会議	124 校
代表者会議	16 校
その他	7 校

### 4 調査実施対象校

全市立中学校 147 校（市ヶ尾中学校を除く。）

### 【参考】

学校教育法施行規則に定められている年間授業時数（中学校）

区分	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	外国語	道徳	総合	特別活動	総授業時数
1 年	140	105	140	105	45	45	105	70	140	35	50	35	1015
2 年	140	105	105	140	35	35	105	70	140	35	70	35	1015
3 年	105	140	140	140	35	35	105	35	140	35	70	35	1015